

## 高齢発症のもやもや病の3例

池田 耕一 継 仁\* 永嶋 智成  
川原 卓馬\* 武村 有祐\* 福島 武雄\*

熊本セントラル病院脳神経外科

\* 福岡大学医学部脳神経外科

要旨：高齢発症のもやもや病3例を報告し、その臨床的特徴について検討した。症例1は74歳女性で突然の頭痛、左不全片麻痺にて発症した。頭部CTにて右視床出血、脳室内穿破及びクモ膜下出血がみられた。症例2は71歳女性で運動性失語にて発症した。頭部CTにて左島から外包にかけて脳出血がみられた。症例3は68歳女性で頭痛にて発症した。頭部CTでは、右前頭葉に脳内出血、脳室内穿破および脳底槽にクモ膜下出血がみられた。3症例とも脳血管撮影にて両側内頸動脈終末部の閉塞ないしは狭窄があり、もやもや病と診断した。症例は68歳から74歳と高齢の女性で、出血発症であった。高齢発症のもやもや病は極めて稀で、その臨床的特徴について考察した。

キーワード：もやもや病，高齢者，出血発症